

編集

三好市役所総務部秘書人事課
〒778-8501
徳島県三好市池田町シンマチ
1500番地2
☎0883-72-7646
koho@city.tokushima-miyoshi.lg.jp
http://www.city-miyoshi.jp/



QRコードからアクセス

□ 編集後記

国の名勝指定とラフティング世界大会決定という2つのビッグニュースが三好市に届けられました。大歩危でみられる岩石や地層の様子は「日本列島の成り立ちを知ることができる希少な場所」として国の天然記念物に指定されていましたが、まさに世界に誇れる宝が三好市にあるのだと実感しました。今後大歩危をキーワードに「する」「みる」「ささえる」という側面とともに「まなぶ」「ふれる」などさまざまな視点で情報を発信できればと思います。(近)

今月は外での取材が多く、気がつけば腕や首などに日焼けの後が。まだ6月で梅雨だと思い、日焼け対策をまったくしていませんでしたが、私が取材に行く日はいつも晴れ。自分が晴れ女だということをすっかり忘れていました。もうすぐ夏も本番。今月掲載した夏のイベントでは、市内のいたるところで開催される楽しいイベントを紹介しています。夏の思い出を作り出かけてみてはいかがでしょうか。私も日焼け対策をバッチリに夏のイベントを楽しみたいと思います。(川)

三好市探訪



のぐちうじょう 野口雨情 (歌碑)

— 三好市池田町サラダ —

刻煙草ちゃ池田が本場
昔ながらの阿波刻み

雨情

野口雨情は茨城県出身の歌謡詩人で、北原白秋、西条八十とともに童謡界の三大詩人といわれ、大正から昭和にかけて「シャボン玉」「七つの子」「赤い靴」「十五夜お月」など民衆に広く親しまれている作品を残しています。

雨情は、昭和11年2月、徳島県内を19日間にわたって巡り歩き、2月13日には池田町に到着。滞在中2日間で15節からなる「池田小唄」を創作しています。翌14日は箸蔵寺、16日には辻町へ足を運び、「箸蔵小唄」や「辻町小唄」も創作しています。

この歌碑は、「池田小唄」の10節目を彫刻したもので、池田町教育委員会が昭和56年1月31日、刻みたばこを生産していた池田のシンボルとして専売公社池田工場の正門脇に建設しました。現在は、阿波池田バスターミナル脇に移設されています。高さ1m、幅1.5m、厚さ30mmの黒みかげ石に、雨情独特の筆致で刻まれており、当時の面影をしのぶことができます。